

料金後納
郵便

BANDO Breakthroughs for the future

株主の皆様へ **バンドー化学株式会社**

平成28年3月期 第3四半期（連結）

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
事務取扱場所 大阪市中央区伏見町3丁目6番3号
☎0120-094-777（通話料無料）

返送先 〒540-8694 大阪東郵便局私書箱第455号
三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部

まずこちらを

開く 濡れている場合は乾かしてから
はがしてください

■ 配当状況

	1株当たり配当金（円）					配当金総額 （年間） （百万円）	配当性向 （連結） （%）	純資産 配当率 （連結） （%）
	第1 四半期末	中間期末	第3 四半期末	期末	年間			
2016年3月	-	6.00	-	6.00 （予想）	12.00 （予想）			
2015年3月	-	5.00	-	5.00	10.00	941	25.0	1.8
2014年3月	-	5.00	-	5.00	10.00	941	22.0	2.1

■ 会社概要

社名 バンドー化学株式会社
Bando Chemical Industries, Ltd.
創業 1906年（明治39年）4月14日
設立 1937年（昭和12年）1月7日
本社事業所 神戸市中央区港島南町4丁目6番6号
TEL (078) 304-2923
ホームページアドレス <http://www.bando.co.jp>

■ 事業所

本店（本社事業所）・R&Dセンター（神戸市）
東京支店、名古屋支店
足利工場、和歌山工場・運動技術研究所
南海工場（大阪府泉南市）、加古川工場

BANDO

<http://www.bando.co.jp>

■ 株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 毎年6月
期末配当金受領株主確定日 毎年3月31日
中間配当金受領株主確定日 毎年9月30日
株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関
同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
〒541-8502 大阪市中央区伏見町3丁目6番3号
TEL（通話料無料）0120-094-777
公告掲載新聞 日本経済新聞・神戸新聞
上場取引所 東京（第一部）

〈ご注意〉

- 株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店でもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

本データの記載内容は、平成28年3月期第3四半期決算短信に基づき作成しております。なお、その後に公表される可能性のある訂正情報や業績予想の修正情報については、本データの記載内容には反映されません。

バンドーグループは
環境にやさしい事業を
推進しています



株主の皆様へ

2016年2月
バンドー化学株式会社

平成28年3月期第3四半期（連結）の概況をお届けいたします。

当第3四半期連結累計期間の世界経済は、米国においては雇用や所得の改善を背景に個人消費が成長をけん引し、欧州においては地政学的リスクが高まるものの緩やかな回復基調で推移いたしました。一方、アジアにおいては中国の景気減速などの影響を受け、新興国の経済成長は鈍化いたしました。また、日本経済は、円安・原油安や政府の景気対策などを背景に緩やかな景気回復が続きました。

当社グループの主要な市場である自動車分野におきましては、米国と欧州では引き続き自動車生産台数が好調に推移いたしました。中国においては、新車販売の不振から減産の動きが広がりましたが、小型車に対する減税措置が奏功し、昨年10月以降は生産台数が回復しました。また、日本では軽自動車税の引き上げ前の駆け込み需要の反動などにより、生産台数が減少する状況で推移いたしました。

このような状況のなか、当社グループは、中長期経営計画“Breakthroughs for the future”（未来への躍進）の第1ステージの3年目として、高負荷対応の歯付ベルト「Ceptor®-X（セプターテン）S8Mタイプ、S14Mタイプ」や欧州委員会規則に適合した軽搬送用ベルト「サンライン®ベルト」など高付加価値製品の開発に努めるとともに、メキシコでの伝動ベルト製品の販売会社の設立など世界最適調達・生産・供給体制の構築にも取り組んでまいりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は710億1千2百万円（前年同期比0.6%減）、営業利益は原価低減活動の徹底や海外生産拠点の増強が軌道にのってきることなどにより43億4千3百万円（前年同期比27.7%増）、経常利益は50億4千2百万円（前年同期比18.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は37億8千2百万円（前年同期比18.7%増）となりました。

また、平成28年3月期の業績予想（通期）および配当金につきましては、昨年11月10日公表の予想値を据置いております。

株主の皆様におかれましては、引き続きご指導ご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。



代表取締役社長
吉井満隆

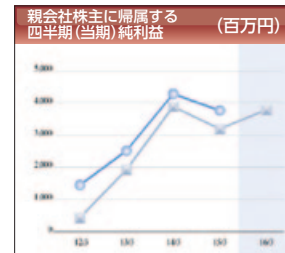
平成28年3月期第3四半期（連結）の概況

（詳細につきましては、当社ホームページ「IR情報」掲載の「平成28年3月期第3四半期決算短信」をご覧ください。）

■ 経営成績



● 通期 ● 第3四半期



■ 事業のセグメント別売上高及び営業利益の状況

当期から、報告セグメントを「自動車部品事業部」、「産業資材事業部」、「高機能エラストマー製品事業部」に再編しております。なお、前年同期比較についてはセグメント変更前の数値と比較しております。

ベルト事業		高機能エラストマー製品事業部		その他	
	売上高		営業利益		営業利益
自動車部品事業部	32,519百万円	自動車部品事業部	2,450百万円	売上高	11,797百万円
産業資材事業部	25,478百万円	産業資材事業部	1,378百万円	営業利益	550百万円
ベルト事業計	57,956百万円	ベルト事業計	3,828百万円	(前年同期増減率)	0.4%
(前年同期増減率)	△1.0%	(前年同期増減率)	27.4%	(前年同期増減率)	234.9%
				売上高	1,950百万円
				営業利益	196百万円
				(前年同期増減率)	7.2%
				(前年同期増減率)	54.7%

■ 平成28年3月期（通期）の連結業績予想

(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

売上高	通期	95,000百万円	△0.4%
営業利益	通期	5,800百万円	20.9%
経常利益	通期	6,800百万円	18.7%
親会社株主に帰属する 当期純利益	通期	4,500百万円	19.7%
1株当たり当期純利益	通期		47円85銭

業績予想は、平成27年11月10日公表時から変更しておりません。なお、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

郵便はがき